

混迷の時代を超えて
～「誰一人取り残されない社会」の実現に向けた老健の役割～



三島スカイウォーク



弁天島

第18回

東海・北陸ブロック

老健大会 静岡

会期: 2023年5月
25日(木)～26日(金)

会場: アクトシティ浜松 中ホール
浜松コンgresセンター
静岡県浜松市中区板屋町111-1



三保の松原と富士山



堂ヶ島天窓洞

URL: <https://www.roken2023-shizuoka.jp/>

老健大会 静岡

検索



ねた平展望台から望む茶畑

■プログラム

第1日目(5月25日(木))		第2日目(5月26日(金))	
9:00	受付	8:00	受付
10:00	開会式	9:00	演題発表第5部
10:30	基調講演	10:00	演題発表第6部
11:30	休憩	11:00	休憩
13:00	演題発表第1部	11:30	記念講演
14:00	演題発表第2部	12:30	閉会式
15:00	演題発表第3部		
16:00	演題発表第4部		
17:00	パイプオルガン ガラ・コンサート		

第18回 東海・北陸ブロック老健大会 静岡



大会長

こ い で ゆ き お
小出 幸夫

静岡県老人保健施設協会会長

大会長ご挨拶

第18回東海・北陸ブロック老健大会は2023年5月25日(木)、26日(金)にアクティシティ浜松中ホールと隣接する浜松コンgresセンターで開催いたします。

テーマは「混迷の時代を超えて～『誰一人取り残されない社会』の実現に向けた老健の役割～」といたしました。「混迷の時代」とは、未だに出口が見えない新型コロナウイルスのパンデミックそして日本では恒常的に発生する自然災害を意味します。これらを受けて2021年度介護報酬改定の中で「感染症や災害への対応力強化」が最重要課題として設定されています。又、海外に目を向ければロシアのプーチン大統領がウクライナに侵攻するという、時代錯誤的暴挙にでました。これも未だ出口が見いだせない状況で日本も無傷ではられません。このような「混迷の時代」には、どうしても社会的弱者である高齢者や障がい者が取り残される危険性があります。「誰一人取り残されない」は「leave no one behind」として2015年9月に国連サミットで採択されたSDGs(持続可能な開発目標)のスローガンです。このコンテキストから地域包括ケアシステムの中心である老健施設は、コロナ禍でも誰一人取り残されることなく高齢者に安心して自立した在宅生活を続けられるよう支援する必要があります。

さて、問題は開催形式です。来年5月時点での新型コロナウイルスの流行状況は誰も予測できません。前回の石川大会はオンラインで開催され見事に成功されました。静岡大会ではオンラインとのハイブリッド開催を視野に入れつつ集会形式での開催を目指しています。

私共は赤誠を尽くして開催の準備を致しますので、皆様方には奮ってご参加、演題発表をお願い申し上げます。



ひがし けん た ろう
東 憲太郎

全国老人保健施設協会会長 東海・北陸ブロック長

プロフィール

1953年生まれ

医療法人緑の風 理事長

介護老人保健施設いこいの森 施設長

平成24年4月～現在 三重県老人保健施設協会 会長

平成24年4月～現在 全国老人保健施設協会 三重県支部長に就任

平成24年4月～現在 全国老人保健施設協会 東海・北陸ブロック長に就任

平成26年6月～現在 全国老人保健施設協会 会長に就任

- ・三重大学医学部 非常勤講師
- ・厚生労働省社会保障審議会 介護給付費分科会 委員
- ・厚生労働省社会保障審議会 介護保険部会 委員
- ・厚生労働省医道審議会 専門委員



記念講演・講師

た か ぐ ち み つ こ
高口 光子

プロフィール

理学療法士・介護支援専門員・介護福祉士

現：介護アドバイザー

元気がでる介護研究所 代表

URL▶<https://genki-kaigo.net/>

記念講演 テーマ「本物のケア 高齢者を支えるケアとは」

高知医療学院を卒業後、理学療法士として福岡の病院に勤務するも、老人医療の現実と矛盾を知る。より生活に密着した介護を求め、特養ホームに介護職として勤務。介護部長、デイサービスセンター長、在宅部長を歴任した後、2002年4月に静岡の医療法人財団百葉の会、法人事務局企画教育推進室室長及び生活リハビリ推進室室長を兼務する傍ら介護アドバイザーとして全国を飛び回る毎日を送った。2006年に老健「鶴舞乃城」の立ち上げに携わり、翌年4月に看介護部長となる。2012年5月には新規の老健「星のしずく」の立ち上げに携わり看介護部長を兼任する。現場を守りながら若い運営スタッフやリーダー育成に取り組む一方で、講演、執筆活動、フェイスブック、NHKに出演し、現場からの等身大の発言・提案で現場を変革させようと精力的に日々を送った。これまでの現場からの学びの集大成として、「介護施設で死ぬということ(講談社)」を、また、現場を知らない人々も関係者の方々にも「今の介護現場」を知ってもらいたいという想いから、「介護の毒は孤独(コドク)です(日総研)」を刊行した。2022年4月「元気がでる介護研究所」を設立し代表となる。